

# 個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	北部高等技術専門学校美作校		所在地	美作市安蘇345	
敷地面積	14,537.01 m <sup>2</sup>		棟数	16 棟 (計画記載対象 6 棟)	
延床面積	5,232.66 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	職業に必要な労働者の能力を開発し、向上させることを促進するため、職業能力開発促進法第16条第1項に基づき設置された公共職業能力開発施設				
<b>【想定される自然災害】</b>					
予想震度 5強		津波 -		浸水 2.0m以上5.0m未満	
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 (2019年度)	電気 88,780 kWh	ガス 14 m <sup>3</sup>	水道 1,938 m <sup>3</sup>	燃料(重油) 2,480 0	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし				

## 1 施設内建物の概況

名称	事務所・教室棟	実習場(工学)棟	実習場(車体)棟
築年(西暦)	1976年	1974年	1995年
構造	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨造1階一部2階	鉄骨造1階一部2階
建築面積	258.75 m <sup>2</sup>	876.63 m <sup>2</sup>	1019.02 m <sup>2</sup>
延床面積	519.75 m <sup>2</sup>	1003.49 m <sup>2</sup>	1086.90 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	事務所 視聴覚教室 1室 教室 2室	実習場	実習場 教室 1室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知機) 消火設備	消防設備(自動火災報知機) 空調設備
利用状況	高	中	中
耐震性 ※1	有	無	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	実習場(販売)棟	講堂	寄宿舍
築年(西暦)	1996年	1996年	1996年
構造	鉄骨造1階	鉄骨造1階	鉄筋コンクリート造3階
建築面積	898.57 m <sup>2</sup>	206.74 m <sup>2</sup>	447.31 m <sup>2</sup>
延床面積	898.57 m <sup>2</sup>	206.74 m <sup>2</sup>	1118.22 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	実習場 教室 2室	講堂	居室 44室 浴室 2室 食堂
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	照明設備 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備
利用状況	中	中	低
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s$ 値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

未耐震建物の耐震改修を行う。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
事務所・教室棟	屋上防水工事を実施する。
実習場(工学)棟	耐震改修を実施する。
実習場(車体)棟	照明LED化を実施する。
実習場(販売)棟	予防保全を図る。
講堂	予防保全を図る。
寄宿舍	屋上及び外壁の防水工事を実施する。

### 3. 施設全体のスケジュール (概要)

1 耐震改修  
(実習場(工学)棟) 2026年度実施設計

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
事務所・教室棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)								屋上		
実習場(工学)棟	耐震改修										実施設計
実習場(車体)棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)								照明 LED化		
実習場(販売)棟	予防保全				予防保全を図る。						
講堂	予防保全				予防保全を図る。						
寄宿舍	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)								屋上 外壁		

### 4. 概算費用

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R6.1	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務所・教室棟において、設備等の定期更新(屋上防水)を追加。</li><li>・寄宿舍において、設備等の定期更新(屋上、外壁防水)を追加。</li><li>・実習場(車体)棟において、設備等の定期更新(照明LED化)を追加。</li></ul>